

ヨツボシシヨウジョウグモの体色変異

池田 博明

Hiroyoshi IKEDA: The body color variation of *Hypsosinga pygmaea* (Araneidae)

同一地点で同日に採集されたヨツボシシヨウジョウグモ 3 頭はそれぞれ色彩が異なっていたので報告する. 採集地は静岡県静岡市麻機遊水地の放棄水田・草地環境で採集日は2013年5月27日である. 採集者は島田孝氏. 所検標本はすべてメス成体であった.



▲背面



▲腹面

体長 3.08~3.59mm. 頭胸部は淡茶褐色である. 腹部背面の中央と側面の地色は白色. 淡色型 (図の右上) は背面に二本の黄褐色の縦条 (たてすじ) がある. 二条型 (図の左上) は条が黒になる. 暗色型 (図の下中央) は縦条が太くなり, 中央の白色領域がほとんど残らなくなっている.



腹部腹面には, 淡色型と二条型では U 字型の黄白色の条があるが, 暗色型ではこのような黄白色の条を欠く. ちなみに, 暗色型でもほかの型でも腹側面には白色領域があるので腹部を横から見ると白色線が見える. 「Spider Ecophysiology」 (2013) 所収の Tso 論文によると夜行性の円網グモの腹面の点斑や条斑には蛾を誘引する効果があるという. 輪郭の明瞭な写真を左に挙げておく. シロスジシヨウジョウグモの色彩変異はよく知られているが, ヨツボシシヨウジョウグモの色彩変異はあまり知己がないと思うので紹介しておく.